

- ◆ 鳥取財務事務所では、平成27年度、更なる地域連携・地域貢献を図るため、年間計画を策定のうえ、取組ごとに若手職員を中心とした「地域貢献プロジェクトチーム」を設置し、自発的な地域連携の活動を展開。
- ◆ 同チームが中心となって、高校生に財政・経済・金融に関する知識の普及及び理解を深めてもらうための「ディベート公開講座」(27年5月)、地域活性化に向けた施策等を大学生と共に考えることを目的とした「地方創生に関する講演会及び意見交換会」(27年11月)を開催。
- ◆ 今後も地域が直面する課題の解決に向けて、同チームを中心に当所職員一丸となって地域活性化に取り組み、地域連携・地域貢献の深化を図る。

1. 成果事例の概要等

- 鳥取財務事務所独自の取組を展開し、一層の地域連携を図るため、『えがお！鳥取財地域貢献プロジェクトチーム』を設置(平成26年8月)し、若手職員中心に活動を展開してきたところ。
- 27年度は、更なる地域連携・地域貢献を図るため、年間計画を策定。取組ごとに若手職員を中心とした自発的な地域連携の活動を実施する「地域貢献プロジェクトチーム」を結成。同チームを中心に当所職員一丸となって活動を展開。
- ①青翔開智高等学校で「ディベート公開講座」を開催(27年5月)。
- ②鳥取大学で「地方創生に関する講演会及び意見交換会」を開催(27年11月)。
- ③財務本省主計局片岡参事官による講演会「平成28年度予算と社会保障改革について～一億総活躍社会の実現に向けて～」を開催(28年3月)。
- ④高校生を対象に、金融経済教育に関する講義「大人になるための家計管理、生活設計について～鳥取県と東京都での人生収支の比較～(仮称)」を開催予定(28年5月)。

2. これまでの取組の成果等

- ①青翔開智高等学校(鳥取市)で「ディベート公開講座」を開催(27年5月30日)
 - 日本の将来を担う高校生にディベートという能動的な学習を通じて、**財政・経済・金融に関する知識の普及及び理解を深めてもらう機会**となることを目的として開催。
 - 実施にあたり、その経緯や趣旨説明、校内ディベート予選会、出前プレ講義を実施。
 - ディベートテーマ(論題)は「日本経済にとって円安はメリットがあるか」。
 - 生徒が肯定側と否定側に分かれて議論を展開。議論を通じて、生徒の日本経済への理解促進に寄与。



- ②鳥取大学で「地方創生に関する講演会及び意見交換会」を開催(27年11月11日)
 - 同大学には全国でも数少ない「地域学部」があり、同学部では地域の公共課題の解決に向けて学習。そこで、**鳥取県の地域活性化に向けた施策等を共に考える機会**を設けようと企画。
 - 当所のネットワークを活用し、講師として、まち・ひと・しごと創生本部(以下「創生本部」) 菊地事務局次長を招聘。
 - 「学生からみた鳥取県の地域活性化」をテーマに講師と学生による地域課題等の意見交換会を実施。当所若手職員も参画し、社会人としての着眼点で助言を行うなど、議論の充実を支援。



《参加者からの声》

両取組とも、「普通の生活ではできない経験ができた」「今後の学びへの良い刺激となり、前向きな気持ちになった」との感想が多く聞かれた(地元マスメディアの報道多数)。

3. 今後の課題と鳥取財務事務所の対応

《今後の課題》

- 地域が直面する課題の解決と地域の活性化に向けて、当所が有するネットワークを最大限活かして地域と連携した活動の継続が必要。

《今後の鳥取財務事務所の対応》

- 同チームを中心に当所職員一丸となって地域活性化に取り組み、地域連携・地域貢献の深化を図る。